



小糸魚の流れ



Tomakomai-shi KAWAZOE-cho-4-5-1 Tel 72-3817 Fax 72-3839 H26. 3. 24 学校評価特別号

平成 26 年度学校評価

保護者アンケート・教職員自己評価・学校関係者評価結果

今年度の泉野小学校の教育活動をしっかりと振り返り、次年度の学校改善に生かすために、保護者の皆様からいただいたアンケート結果と教職員による自己評価、さらには学校支援ボランティア本部会議で挙げた意見や要望をしっかりと学校運営に反映できるよう努めてまいります。

保護者アンケート（評価項目への選択式回答）

評価の項目		A		B		C		D		E		合計	
1	人権尊重・生命尊重を基盤にした教育活動	163		162		8		3		15		351	人
		46.4		46.2		2.3		0.9		4.3		100.0	%
	左欄はH25年度 右欄はH24年度	63.3	55.0	34.4	40.0	2.3	4.0	0.0	1.0				
2	基礎・基本の定着を基盤とした学力向上の取組	177		158		9		2		5		351	人
		50.4		45.0		2.6		0.6		1.4		100.0	%
	左欄はH25年度 右欄はH24年度	59.6	50.0	35.4	45.0	4.9	4.0	0.0	1.0				
3	健康で豊かな心をはぐくむ教育の充実	181		156		4		1		9		351	人
		51.6		44.4		1.1		0.3		2.6		100.0	%
	左欄はH25年度 右欄はH24年度	65.9	5.3	31.0	43.0	3.1	3.0	0.0	1.0				
4	研修活動の推進と「分かる授業づくり」	159		160		14		1		17		351	人
		45.3		45.6		4.0		0.3		4.8		100.0	%
	左欄はH25年度 右欄はH24年度	47.9	42.0	47.1	52.0	4.9	6.0	0.0	0.0				
5	教職員の学校経営参加意識と服務規律の保持	141		150		14		2		44		351	人
		40.2		42.7		4.0		0.6		12.5		100.0	%
	左欄はH25年度 右欄はH24年度	49.3		48.3		2.1		0.3					
6	特別支援教育の推進	155		157		11		1		28		352	人
		44.0		44.6		3.1		0.3		8.0		100.0	%
	左欄はH25年度 右欄はH24年度	53.6	56.0	43.2	41.0	23.0	3.0	0.8	0.0				
7	子どもが安心・安全に過ごせる危機管理や安全指導の推進	158		171		11		6		5		351	人
		45.0		48.7		3.1		1.7		1.4		100.0	%
	左欄はH25年度 右欄はH24年度	63.5	46.0	33.3	49.0	2.6	5.0	0.5	0.0				
8	家庭・地域と共にある「特色ある教育」「開かれた学校づくり」の推進	184		144		6		1		16		351	人
		52.4		41.0		1.7		0.3		4.6		100.0	%
	左欄はH25年度 右欄はH24年度	64.6	61.0	32.6	36.0	2.6	2.0	0.3	0.0				
9	食育や食に関する指導	154		162		19		3		13		351	人
		43.9		46.2		5.4		0.9		3.7		100.0	%
	左欄はH25年度 右欄はH24年度	56.3	48.0	40.6	47.0	2.9	4.0	0.3	1.0				

保護者アンケート（評価項目への記述式回答）

評価の項目	意見や要望
人権尊重・生命尊重 基盤の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの問題については、理想だけでなく、安全面からも配慮していただいていることを感じております。 ・今後とも、「厳しさの」中に優しさ、温かさのある指導を希望します。概ね、現状で良いのかと思っております。 ・いじめ、命に関する授業や集会は本当に子どもたちの心に届いているのかと思う場面を目にすることがあります。校内ではできているのかもかもしれませんが、普段や学校の行き帰りには「泉野の子なの？」と思うこともあり、少し悲しくなる行為が見られます。高学年になるほどにひどくなっていると思います。人目がなければ何をしてもよいということにはならないと分かってほしいです。 <p>→今まで以上に地域や保護者の皆様と連携をとり、場所や場面が変わっても優しさや思いやりの気持ちを大切にできる子どもの育成に努めてまいります。</p>
基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題の採点をしてもらって先生による〇をもらおうと嬉しくてやる気につながるようです。宿題の他にも硬い家庭学習したドリルなども積極的に見てもらえるので、「先生に見てもらうため」と少しずつ勉強をやるようになって良かったと思います。 ・学力検査で厚真町が結果を出しているのに、苫小牧が劣っている記事を見て、何とも言えない気分でした。学校は勉強だけがすべてでないことは承知していますが、少子化の中、将来、子どもたちが幸せな未来を手に入れるために、高い学力を付けていくことは必須だと思います。 <p>そのためには、協力は惜しみませんので、どうぞよろしくご指導お願いします。</p>
健康で豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・30周年行事お疲れさまでした。泉野の子どもたちは、校内でも登下校時に会ったときでも挨拶をしてくれる子が多いです。とても気持ちが良いです。6年間お世話になりました。泉野小に通えて良かったです。 ・担任の先生も子どもたちに丁寧にかかわっていただいていると大変感謝しています。子ども達が毎日、楽しそうに登校できていることを嬉しく思います。
分かる授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも熱心な指導、教育活動ありがとうございます。評価ではBもありますが、「もっとできること」「さらに上を目指せる」という期待の意味からです。特に学力に関しては、まだ何かできる工夫があり、子どもたちの力を引き出してほしいと願っています。全道・全国に近づき追い越したいですね。“希望”、“期待”ばかりですみませんが、先生方に引っ張っていただき、家庭もちょっと後ろから力を合わせたいです。
服務規律	<ul style="list-style-type: none"> ・学級懇談会や保護者面談をとおして、子どものことをよく見ていることが伝わってきました。 ・一部の先生ですが、児童に対する言葉遣いと保護者の前での態度の差が大きい方がいるのを何度か見かけたことがあります。フレンドリーとは少し違う

	<p>と感じてしまいました。先生は親しみやすさも必要ではあると思いますが、先生らしくあってほしいと思いました。</p>
特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年までは、特別支援学級のみでの見学学習参加でしたが、今年は、見学学習・体験学習・運動会・学習発表会も通常のクラスと一緒に行動させてもらったので、とても良かったです。周りの子どもも親切で、安心して運動会や学習発表会を観ることができて感激しました。来年も引き続き参加できる行事には積極的に交流させてほしいです。
安心・安全な学校	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしんメールの導入でより早く情報が入り良かった。 ・子どもの安全を守るなら学校の中だけでは駄目だと思います。掃除の時間を他学校と同じく昼休みにし、帰宅する際はどの学年も一斉下校のような取組が必要だと思います。不審者が出た件もあり、下校時の対応（掃除の子、掃除のない子の下校時刻がバラバラ）が不足している気がします。検討よろしくをお願いします。 →次年度は児童が一斉に昼清掃を行い、帰りの会の時間の長さもある程度統一し、同じ時間帯に下校できるよう考えています。 ・地域ボランティアの方々の見守りや声かけのおかげで安心して送り出すことができます。ありがとうございます。 →地域ボランティアの方々は、天候や体調が優れなくても通学路に立ち見守りをしてくださっています。「毎日立っていて当たり前」ではなく、「自分たちの代わりに子どもを見守ってくださっている」という感謝の気持ちを表すことが大人の務めではないでしょうか。
特色・開かれた学校	<ul style="list-style-type: none"> ・③の教育活動に関して、学年に合った出前授業だと思いました。学んだことを家庭に帰って教えてくれました。家では学ばせることができない内容だったりするので、とても評価いたします。 ・「泉野小学校30年間の歴史を学ぶ集会」「開校30周年記念式典」どちらも今年の特別な行事でしたが、短い準備期間で、授業のやりくり、そして連携でとても素晴らしい式になりました。泉野小の子どもたちはとても歌が上手で、きれいなハーモニーは他校に誇れる素晴らしい特色だと思います。行事に取り組む姿勢も真剣で立派でした。
食に関する指導	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭による食育が充実していて、とても良いと思います。「感謝して食べること、興味をもって食べること」でおいしさも変わると思いました。栄養教諭の先生がいるからこそ受けることのできる教育もあると思うので、今後も配置されることを願っています。

教職員による自己評価（評価項目への選択式回答）

【組織・運営】		A	B	C	D	合計
1	教育目標の具現化 日常の教育活動が、教育目標（学校課題）の示す子どもを育成する計画や実践となっていた。	8	13	0	0	21
		38.1	61.9	0.0	0.0	割合 (%)
2	教育計画の実施 様々な教育の計画が、前年度の踏襲ではなく真に子どもの力を培うものとしてその活動が計画・実践・評価され、必要に応じた改善がなされていた。	8	11	2	0	21
		38.1	52.4	9.5	0.0	割合 (%)
3	説明責任 開かれた学校の観点から、学校運営についての説明や共通理解が対外的・校内的に十分なされていた	9	12	0	0	21
		42.9	57.1	0.0	0.0	割合 (%)
4	職務遂行 校長・教頭および担任外を含めた全職員・各部署が、経営参画意識を持ち、その職務や機能を十分果たしていた。	6	12	3	0	21
		28.6	57.1	14.3	0.0	割合 (%)
5	校務分掌 校務分掌の5部組織は、各部・各系の職務内容が明確で、その分量と人員配置も学校全体のバランスからみて適当である。	7	11	3	0	21
		33.3	52.4	14.3	0.0	割合 (%)
6	会議の効率性 諸会議が能率よく効果的に進められ、協働体制が確立される場として機能していた。	6	10	5	0	21
		28.6	47.6	23.8	0.0	割合 (%)
7	学年部会の機能 学年部会が教科進度の打ち合わせだけにとどまらず、学習指導や生徒指導など深く話し合う学年研修の場として機能していた。	14	6	1	0	21
		66.7	28.6	4.8	0.0	割合 (%)
8	児童および外部への対応 児童・保護者・来客および職場内の対人関係では、教育公務員として節度ある言葉遣いや服装などに気を配り望ましい教育環境を築くことができた。	8	13	0	0	21
		38.1	61.9	0.0	0.0	割合 (%)
9	危機管理 防災計画は学校をとりまく様々な社会の変化に対応して適切であり、また、各々がその内容を良く理解していた。	6	10	5	0	21
		28.6	47.6	23.8	0.0	割合 (%)
【研究部】		A	B	C	D	合計
1	研究主題は本校の実態に即し、学校課題を解決するものであった。	8	13	0	0	21
		38.1	61.9	0.0	0.0	割合 (%)
2	研修計画・組織・方法など研究推進は適切であり、共通理解のもと意欲的に取り組まれていた。	10	10	1	0	21
		47.6	47.6	4.8	0.0	割合 (%)
3	研修内容は、日常の教育活動の中で実践化され、その成果として教師の指導力や専門性が高まった。	11	10	0	0	21
		52.4	47.6	0.0	0.0	割合 (%)
4	研究会・研修会などの参加は、各自の年間の研修計画に	4	13	4	0	21

	基づき意欲的に取り組まれた。	19.0	61.9	19.0	0.0	割合 (%)
	【教務部】	A	B	C	D	合計
1	教育課程は、新しい学力観に立ち、適切に管理運営され、また、適宜評価され、次の改善に生かされていた。	3	16	2	0	21
		14.3	76.2	9.5	0.0	割合 (%)
2	指導計画は、基礎的・基本的な学力が身に付くように計画され実践することができた。	5	15	1	0	21
		23.8	71.4	4.8	0.0	割合 (%)
3	日課表の編成・特別教室等の割当てが適切であり、また、授業時数が適正に確保されて学習内容も消化できた。	4	16	1	0	21
		19.0	76.2	4.8	0.0	割合 (%)
4	学習評価のあり方が検討・吟味され、指導法の工夫改善に生かされた。	5	12	4	0	21
		23.8	57.1	19.0	0.0	割合 (%)
5	教材教具・教育機器・視聴覚機器が適切に整備・管理され、効果的な活用が図られた。	7	12	2	0	21
		33.3	57.1	9.5	0.0	割合 (%)
6	児童一人一人が生き生きと活動できる学年・学級経営を実践することができた。	7	14	0	0	21
		33.3	66.7	0.0	0.0	割合 (%)
7	特別支援教育についての理解を深め、適切な就学指導をすることができた。	4	13	4	0	21
		19.0	61.9	19.0	0.0	割合 (%)
8	学習成果の発表、優れた作品にふれる機会や掲示物など、学習環境や文化的環境を整え学校生活にうおいをもたせることができた。	5	16	0	0	21
		23.8	76.2	0.0	0.0	割合 (%)
9	児童の読書意欲を高め、学習に活用できる図書指導の充実が図られていた。	12	9	0	0	21
		57.1	42.9	0.0	0.0	割合 (%)
	【地域連携係】	A	B	C	D	合計
1	全職員の共通理解のもと、「ふれ合い、学び合い」学習の充実へ向けての環境づくりが図られていた。	7	13	1	0	21
		33.3	61.9	4.8	0.0	割合 (%)
2	地域素材・人材・施設の活用に対する調整・連携が適切に行われた。	12	9	0	0	21
		57.1	42.9	0.0	0.0	割合 (%)
3	PTAの諸活動が、スムーズかつ意欲的に行われるよう支援ができた。	10	10	1	0	21
		47.6	47.6	4.8	0.0	割合 (%)
	【生徒指導部】	A	B	C	D	合計
1	日常生活を通して子ども達一人一人に目を向け、児童理	9	12	0	0	21

	解を深めるための工夫や配慮がなされていた。	42.9	57.1	0.0	0.0	割合 (%)
2	全職員の共通理解のもと「生活のきまり」について計画的・継続的に指導され効果が上がった。	12	9	0	0	21
		57.1	42.9	0.0	0.0	割合 (%)
3	問題行動の早期発見や事前・事後の指導、防止対策等が、学級・学年・全校体制の中で行われていた。	15	6	0	0	21
		71.4	28.6	0.0	0.0	割合 (%)
4	児童会活動では、自主的・意欲的に取り組めるように計画・運営され、児童の豊かな感性や実践的な態度を育成する活動となっていた。	12	9	0	0	21
		57.1	42.9	0.0	0.0	割合 (%)
5	学校の安全指導、交通安全、防災対策が具体化され、指導が徹底されていた。	6	14	1	0	21
		28.6	66.7	4.8	0.0	割合 (%)
	【保健体育部】	A	B	C	D	合計
1	日常の体育的活動や体育行事の充実を図り、適切に指導実践されていた。	12	9	0	0	21
		57.1	42.9	0.0	0.0	割合 (%)
2	児童の健康管理維持のための保健室経営や、担任による保健指導は充実していた。	7	13	1	0	21
		33.3	61.9	4.8	0.0	割合 (%)
3	校舎内外の美化・清掃活動、給食指導が適切に実践されていた。	4	15	2	0	21
		19.0	71.4	9.5	0.0	割合 (%)
4	薬物乱用防止教育や正しい性教育を通して薬害や正しい性知識を身につけ、男女相互の豊かな人間関係の育成に努めることができた。	9	11	1	0	21
		42.9	52.4	4.8	0.0	割合 (%)
5	食に関する指導を通して、食に関する正しい知識を身に付け、食事の重要性を理解させることができた。	11	9	1	0	21
		52.4	42.9	4.8	0.0	割合 (%)
	【事務部】	A	B	C	D	合計
1	文書の収受・保管・発送処理が正確で適切であった。	8	12	1	0	21
		38.1	57.1	4.8	0.0	割合 (%)
2	諸表簿（出勤簿・休暇処理簿など）は、見やすく、分かりやすく、使いやすく整理保管されていて適切であった。	13	8	0	0	21
		61.9	38.1	0.0	0.0	割合 (%)
3	各予算が有効に執行され、正しく適切に処理されていた。	11	8	2	0	21
		52.4	38.1	9.5	0.0	割合 (%)
4	校舎内外の施設整備・管理が迅速・適切に行われ、学びやすい教育環境づくりが進んだ。	13	8	0	0	21
		61.9	38.1	0.0	0.0	割合 (%)

学校支援ボランティア本部会議における評価

評価項目	成果や課題
①人権尊重・生命尊重を基盤にした教育活動を進めているか	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も児童一人一人の実態の把握に努めてほしい。 ・夏季、冬季いじめ問題サミットに参加し、意識を高めている。また、異学年交流も実施し、相互信頼の基盤を作っている。思いやり親切ボックスや思いやりの木運動など人間尊重を図っている。 ・「町内会との花壇づくり」や「畑づくり」の実践は、相手を思いやる気持ちを育み、いのちを尊ぶことの大切さを学ぶことにつながっているのではないかな。
②いじめ問題・不登校児童への取組は十分か	<ul style="list-style-type: none"> ・校区の地域と連携を図りいじめ防止に関する取組を地域で行なうには情報等が少なく、(不登校も同様) 対応しづらい。 ・校内いじめ対策委員会の設置で毎月末に会合を持ち指導している。また、児童への指導強化でも「いじめ0運動」等で児童会の取組も進めている。 ・良好である。 ・いじめアンケートは良い取組だ。アンケート結果をどのように生かすかが課題である。 ・早め早めの対応がなされていて良いと思う。先生との関係が深くなるにつれて信頼を得ている。 ・職員全員でいじめを起こさないように努力している様子が見える。 ・対策委員会で年間計画やチェックリストを作り行動している点、また児童自らが「児童会だより」でいじめゼロを再三呼びかけていることは心強く思った。 ・いじめアンケート結果を見ると、昔ではいじめと思われなかったちょっとした悪ふざけも含まれているように思う。
③健康で豊かな心を育む教育の充実に努めているか	<ul style="list-style-type: none"> ・よく取り組んでいると思う。 ・開校30周年に伴う歴史の紹介や発表会がよかった。多くのジャンル、外部講師による授業などよく取り組んでいる。 ・多彩な外部講師による授業に驚いている。 ・歩道橋清掃はボランティア精神を、また、多彩な外部講師による授業は豊かな心を、それぞれ育んでいると思う。
④研修活動の推進と「分かる授業づくり」を進めているか	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日等で見ているが、わかりやすく教えられていると実感できる。 ・授業公開や研究授業は大いに評価できる。また、大学の先生を招いての授業づくりや外部講師等の人材を招いての学習会等、積極的な取組を評価する。 ・良好である。 ・研修活動は頑張っていることがわかる。太田先生の理科の授業はできれば続けてほしい。 ・素晴らしい。 ・研究や研修に努めている。 ・児童を理解し、模範となる言動を心がけていることは、学校を訪れるたびに感じられる。
⑤基礎・基本の定着を基盤とした学力向上に取り組んでいるか	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年もいつも授業に集中していると感じている。 ・声の大きさ、歯切れに気になる先生がいる。 ・同じ授業でも学級によって進め方に差がある。 ・よく取り組まれている。 ・家庭学習に力を入れていることが分かった。 ・現状は取り組むべきことが多く、今の取組が精一杯かもしれない。 ・よく取り組んでいる。 ・少人数授業やTT授業、家庭学習の取組など十分努力している。 ・算数科では、児童に応じて手厚く指導していることに感心している。今後は、英語教育の重要性が増すと思う。

<p>⑥全国学力・学習状況調査及び市統一学力テスト（４・５年）の保護者への結果公表のあり方について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のあり方について、学校と家庭が一体となって進めていくべきで、学力の結果を知りたがっている親は多いのではないかと感じた。 ・総体的によい。学年、科目ごとに「今後の方策」を明記し、家庭にも呼びかけている。 ・実状を示すことにより保護者の意識化につながる。 ・グラフは分かりやすくして良い。配付された保護者がどう意識するかが大切である。 ・弱いところが分かっているのがよい。
<p>⑦校区中学校との連携は進められているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・両校の連携はうまくいっていると感じる。町内会行事に両校長が参加する場合もあり、地域としては感謝している。 ・三校交流会によって、各学校教職員と地域の方々は子どもに対する共有感はあるが、６年生の子どもの中学校への期待や不安感払拭のためには、体験交流の場が数回あるとよいのかと思う。
<p>⑧教職員の学校経営参画意識と服務規律の保持に努めているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大変なことです。教職員の頑張りに期待します。 ・学力向上に取り組んでいる一方で、学校運営、規律の保持や研究心も旺盛である。 ・学校教育目標達成のため、各教職員が子どもや保護者へ親身に接している様子が保護者のアンケートから感じ取れる。また、全教職員が一人一人に対して今後も親身になった受け答えを行ってほしい。
<p>⑨特別支援教育の推進を図っているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級、学年の枠にとらわれない、各種学校行事への取組が成果をあげていると感じた。今後も更なる交流や共同学習に対して、全教職員が一丸となって取り組むことを期待したい。
<p>⑩子どもが安心・安全に過ごせる危機管理や安全指導の推進を図っているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よく指導されている。保護者の姿があまり見られないが、どのような活動をしているのか。 ・防災意識、交通安全等、全般にわたり注意を払っている。地域との情報交流にも務めている。 ・良好である。社会に不安、不信を過度に持たせないほうがよい。 ・最近、特に子どもにかかわる事案が増加して、学校と地域において連携し、早期に対応できる体制が整っていると思う。今後も、学校と地域において各種対策を講じていく必要性を感じている。
<p>⑪家庭・地域と共にある「特色ある教育」「開かれた学校づくり」の推進を図っているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・努力の結果が現れている。 ・地域との連携や交流も充実し、開かれた学校づくりに努力している。地域安全委員会、ふるさと学習推進等でその成果を出している。 ・外部講師による特色ある授業によって、学校の授業とは違うことが学べて好評のようだ。
<p>⑫食育や食に関する指導を進めているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの報告があったが、今後も十分気をつけて指導することを期待している。 ・食育ボードの活用による食の指導や栄養教諭による食育の授業等を行うことで、子どもの食の安全・安心につながっていると思う。

